

クックパッドの料理名におけるオノマトペと記号の 基礎分析：ABAB型のオノマトペと顔文字の使用実 態

著者	岩崎 拓也, 福留 奈美, 伊尾木 将之
雑誌名	言語資源活用ワークショップ発表論文集
巻	6
ページ	147-159
発行年	2021
URL	http://doi.org/10.15084/00003488

クックパッドの料理名におけるオノマトペと記号の基礎分析 ： ABAB 型のオノマトペと顔文字の使用実態

岩崎 拓也（国立国語研究所）

福留 奈美（東京聖栄大学）

伊尾木 将之（クックパッド株式会社・慶應義塾大学）

Basic Analysis of Onomatopoeia and Symbols in Cookpad Recipe Titles: Usage of ABAB Type Onomatopoeia and Kaomoji Face Characters

Takuya IWASAKI (National Institute for Japanese Language and Linguistics)

Nami FUKUTOME (Tokyo Seiei College)

Masayuki IOKI (Cookpad Inc. / Keio University)

要旨

本研究は、レシピサービス「クックパッド」における料理名に着目し、オノマトペと顔文字、記号がそれぞれどのような関係にあるかを明らかにすることを目的とする。分析方法は、まず、2002年から2017年までの16年間に投稿されたレシピから、45種類のABAB型オノマトペが使用されている料理名を抽出し、形態素解析にかけた。形態素解析するさいには、自作の顔文字辞書を使用し、各記号に分割されやすい顔文字を網羅的かつ解析漏れがないように工夫した。本発表では、このデータの基礎情報を報告する。

1. はじめに

食べ物関連の表現にはオノマトペが多い。たとえば、早川（2005）がまとめた食べ物の食感を表すテクスチャー用語445語のうち、300以上の語がオノマトペであったことを福留・伊尾木（2018）では報告している。355万件（2021年7月現在）のレシピ投稿を掲載するレシピサービス「クックパッド」のレシピタイトルを見てみると、(1)のように食感を表すオノマトペが含まれる料理名を見つけることができる。また、(2)や(3)のように料理名に「♪」「★」「◎」などの記号や「m(_)m」のような顔文字を含むものもあり、従来の書きことばではみられなかった記号類（以下、ウェブ記号）がつくことで、料理やレシピに対して何らかの異なる印象を与えているものと考えられる（以下、例文の下線は筆者による）。

- (1) さくさくサブレッキ（ココア味）
- (2) ほくほく♪ポレンタのカネロニグラタン風★
- (3) ぐるぐる～◎いちごブレッド

ウェブ記号をつけることでよりよい印象を持たせたり、文章製作者の気分や感性的なものを伝えたりしようとする試みは、料理名に限ったことではない。岩崎（2020）では、クラウドソーシングにおける発注文書の依頼タイトルを対象として、どのような記号類が使用されているかの分析を行っており、クックパッドの料理名と同様に発注文書の依頼タイトルにおいてもウェブ記号の使用が報告されている。しかし、ビジネス文書という文書の性質

上、顔文字の出現は頻度、種類ともに少ない。その一方で、クックパッドの料理名では、(4)や(5)のようにさまざまな顔文字を見ることができる。

(4) 体ぽかぽか(*^_^*)ガーリックスープ

(5) ほろほろ紅茶豚@^(oo)^@

そこで、本研究では、料理レシピを誰もが自由に投稿できるレシピサービス「クックパッド」のレシピを対象に、オノマトペと顔文字、記号がどのように組み合わせられて使用されているかを明らかにすることを試みる。具体的には、大規模なレシピデータからの機械的抽出でエラーが少ないと考えられた ABAB 型オノマトペを対象として、福留・伊尾木 (2018) で分析対象とした 250 万件を超える料理名データを検索し、ABAB 型オノマトペが使用されている料理名データを抽出する。その後、記号と顔文字の有無について、形態素解析をかけて判別し、ABAB 型オノマトペが使用されたクックパッドの料理名において使用されていた記号と顔文字の基礎的な情報を示す。

2. 先行研究

食べ物の言語表現研究には、レトリック、メタファー、共感覚、音象徴などさまざまな言語学・日本語学の視点から、「味ことば」としておいしさに関わる表現の諸相をまとめたものがある(瀬戸その他 2003、瀬戸その他 2005)。また、食べ物の食感を表す表現を収集・選定して 445 語のテクスチャー用語として特定し、食べ物との対応を含めて体系化した研究がある(早川 2013)。この 445 語のうち 312 語 (70.1%) が擬音語・擬態語であり、食感を表す一般的なオノマトペが多くあることがわかる。この他、日本語教育(ザトラウスキー・福留・水藤・蓮沼 2018)や認知科学(福留 2018)の観点から、食べ物とオノマトペの関係をとらえようとした研究や、おいしさ表現としてシズルワードの使用実態を調査した報告がある(B・M・FT ことばラボ 2018)。クックパッドのレシピには味覚系と食感系のシズルワードが多いという指摘があり(B・M・FT ことばラボ 2016: 224)、誰でもが投稿できるクックパッドのレシピ情報は、食べ物に対するオノマトペの一般的な使用実態をとらえる分析対象として有益なビッグデータだと考えられる。以上のように、食べ物の言語表現の中でオノマトペの使用に着目した先行研究はあるものの、本研究で着目する記号の使用までを含めた研究は管見の限りない。

記号については、岸本 (2017) がウェブ記号という記号類についてまとめている。このウェブ記号は、疑問符「?」や感嘆符「!」のように、句読点の代わりとして使用される記号類のことを指し、付加される直前の文の内容との間になんらかの傾向または法則が認められる可能性を指摘している。この指摘を踏まえて、岩崎 (2020) では、クラウドソーシングにおける発注文書の依頼タイトルにおける記号類の使用傾向を分析している。その結果、この依頼タイトルでは、約 90%になんらかの記号類が含まれていることを明らかにしたうえで、句読点やカッコ・感嘆符・疑問符などの記号、丸数字・絵文字などのウェブ記号など、多種多様な記号類がみられたことを報告している。

3. 分析データ

分析データの概要と分析に用いたデータの作成方法について説明する。分析データは、レシピサービス「クックパッド (<https://cookpad.com/>)」に登録されたレシピのうち、2002 年か

ら2017年に登録された約257万件を対象とした。この約257万件を対象に、ABAB型オノマトペを含む料理名を抽出し、さらに、その料理名に顔文字がついているかを調査した。オノマトペの抽出はできるだけ機械的に行った。まず、清音46語に濁音、半濁音、拗音を加えた全104音と異なる音の組合せ計10,712通りの語基(例. ふわ)を作り、レシピ料理名の文中に含まれるABAB型の反復型文字列を抽出した。この検索により、116,649件の料理名を得た。

表1 料理名・説明文・作り方中使用されたABAB型畳語(各項目の上位30語)と意味(福留・伊尾木(2018)の再掲)

	上位語	オノマトペの意味	その他の意味	出現頻度順位			テキストチャート用語			
				料理名	説明文	作り方	早川	小野	飛田	山口
1	ふわふわ	食感/軽いさま/柔らかくふくらんださま/うわつくさま		1	1	12	○	○	○	○
2	かりかり	食感/かみ砕く音/怒るさま		4	6	5	○	○	○	○
3	とろとろ	食感/溶けたさま/やや粘るさま		3	4	9	○	○	○	○
4	さくさく	食感/響く音/勢いよく進むさま		2	3	19	○	○	○	○
5	しゃきしゃき	食感/唐揚げの音/手際よいさま		6	2	21	○	○	○	○
6	もちもち	食感/柔らかく粘りけのあるさま/肉づきがいさま		5	5	33	○	○	○	○
7	ぱりぱり	食感/張りのあるさま/はがす・砕ける音/固く薄いさま		10	13	22	○	○	○	○
8	ほくほく	食感/温かて柔らかいさま/軽く浮かれるさま		8	7	35	○	○	○	○
9	ごろごろ	食感/小さな物が転がるさま/かわいさま/笑う声	掃除用具の商品名	9	31	15	○	○	○	○
10	さくさく	食感/切る音/勝利を踏む音/金貨等が多いさま		19	24	14	○	○	○	○
11	ばらばら	食感/粒状のものがまばらに振るさま/本をめくる音		24	34	3	○	○	○	○
12	さらさら	食感/軽く触れあう音/軽快に進むさま/乾いた感じ	副詞「更更」	34	26	18	○	○	○	○
13	ごろごろ	食感/雷鳴の音/大きなものが転がるさま・音等	雷の幼児語	13	25	43	○	○	○	○
14	ねばねば	食感/粘って物につきやすいさま	名詞(粘ってつきやすいもの)	12	15	57	○	○	○	○
15	ほろほろ	食感/力を入れずにくずれさま/こぼれ落ちるさま		23	22	48	○	○	○	○
16	ぷりぷり	食感/弾力があるさま/機嫌の悪いさま		18	16	68	○	○	○	○
17	つるつる	食感/表面が滑らかなさま/滑りやすいさま/速く進むさま		39	30	74	○	○	○	○
18	ぼろぼろ	食感/もろくくずれさま/ぼろぼろよりやや軽い感じ	短編小説の題名	82	86	11	○	○	○	○
19	ごりごり	食感/かたくて固くたえるさま/かたく締まったさま	副詞・形容動詞「黙り黙り」の古典表記	42	23	132	○	○	○	○
20	ばらばら	食感/まらまらがないさま/粒状のものが落ちる音		151	95	20	○	○	○	○
21	どろどろ	食感/粘性のある流動物のさま/遅くで鳴る雷等の音		148	100	26	○	○	○	○
22	ぷつぷつ	食感/粒状のさま/たやすく切れるさま/穴をあけるさま		-	275	27	○	○	○	○
23	ぶるぶる	食感/弾力があり柔らかいさま/震えるさま		20	28	61	○	○	○	○
24	ぶちぶち	食感/粒々とした感触があるさま/連続してつぶすさま	名詞(小さな粒状のもの、気泡緩衝材の商標名)	32	20	69	○	○	-	○
25	ふるふる	食感/柔らかくゆれるさま		30	51	105	○	○	-	-
26	くるくる	軽く回して回るさま/まるめるさま/動き・変化するさま		14	29	2	-	-	-	-
27	とことこ	静かに煮える音/軽く物をたたく音	古典的な表現「異異」	45	27	4	-	-	-	-
28	くるくる	回して回るさま/巻きつけるさま		33	49	7	-	-	-	-
29	しゃぶしゃぶ	水が波立つ音	料理名	27	39	29	-	-	-	-
30	もりもり	旺盛な食欲で食べるさま/勢いよくふくらむさま		15	9	103	-	-	-	-
31	ほくほく	口を開け閉めするさま/盛んに食べるさま		29	10	106	-	-	-	-
32	どんでん	強く打つ音/勢いよく進むさま		102	19	25	-	-	-	○
33	ばんばん	勢いよく打つ音/勢いよく進むさま	古典的表現「万万」	26	59	117	-	-	-	-
34	くつくつ	物の煮え立つ音・さま/のど鳴る音		126	77	6	-	-	-	-
35	ぽかぽか	暖かく感じるさま/続けざまにたたく音・さま		17	17	185	-	-	-	-
36	しゃかしやか	振るさま/こぼれる音		93	122	24	-	-	-	-
37	ちんちん	続けざまに軽くたたく音/滑りなく進むさま/切る音・さま		125	223	19	-	-	-	-
38	ひたひた	やっつける程度であるさま/繰り返して打ち直すさま		180	247	1	-	-	-	-
39	ぷつぷつ	湯が沸くさま/水が沸き出るさま/感情が沸き起るさま		-	-	8	-	-	-	-
40	うまうま	おいしく感じられるさま/物事を上手に行うさま	形容動詞「旨い」の反復型。食べ物の幼児語	11	14	86	-	○	○	-
41	だんだん	順を追って変化するさま/次々続くさま	名詞「段々」(階段、次第)	154	88	30	-	○	○	-
42	ちやんちやん	刀同士で打ち合う音/遅りなく正確にするさま		22	70	279	-	○	○	-
43	あつあつ	「いちゃいちゃ」の類義語	形容動詞「熱い」の反復型	21	12	10	-	-	-	-
44	もみもみ ^{※3)}	(古典表現)	動詞「揉む」の反復型	62	65	17	-	○	-	-
45	ついつい	期待してほしいほうに事が進むさま	副詞「つい」の反復型	108	21	191	-	○	-	-
46	たるたる ^{※1)}	-	料理名「タルタルソース」の語幹	7	18	23	-	-	-	-
47	いろいろ ^{※2)}	-	形容動詞・副詞・連体修飾語の「色々」	16	8	28	-	-	-	-
48	まげまげ ^{※3)}	-	動詞「混ぜる」の反復型	38	57	16	-	-	-	-
49	まきまき ^{※3)}	-	動詞「巻く」の反復型	28	87	115	-	-	-	-
50	しりしり ^{※1)}	-	料理名(沖縄の郷土料理「にんじんしりしり」)	25	78	130	-	-	-	-
51	なかなか ^{※2)}	-	形容動詞・副詞・連体修飾語の「中々」	185	11	42	-	-	-	-

※1) 固有の料理名、または食材名であるもの

※3) 動詞の反復型

※5) 名詞(食材名)、形容詞(サイズ)の反復による強調

※2) 形容動詞・副詞・のなを伴う連体修飾語

※4) 副詞の反復による協調

ただし、この手法による抽出では、オノマトペではないものも含まれることになる。そこで、今回は、福留・伊尾木(2018)で挙げられている「料理名・説明文・作り方中使用されたABAB型畳語」の45種類のオノマトペ(表1)に限定することにした(表1左の1から

45 のオノマトペを対象としている)。その結果得られたレシピ数は 93,353 件であった。

次に、このデータに対して形態素解析 (python 3.6.9, unidic-cwj-2.3.0) を行った。ただし、顔文字の解析にあたっては、通常の形態素解析辞書のみでは収録されている顔文字の数が不足しているため、自作の顔文字辞書を追加して解析を行った。この自作顔文字辞書は、ネットにあるフリーの顔文字辞書を集めて整形し、クックパッドの料理名 116,649 件から目視で顔文字を抽出、その後、さらに正規表現でひらがな/カタカナ/漢字を削除して顔文字を抽出、重複しているものを削除、という手順を二度重ねて作成した。この顔文字辞書を unidic-cwj-2.3.0 の自作辞書として組み込んで形態素解析を行った。

4. 分析結果

4.1 品詞構成と補助記号の頻度と割合

まず、ここでは基本的なデータの概要を説明する。表 2 に 93,353 件のデータの形態素解析の結果を基礎情報として示す。本発表で考察の対象となるのは、補助記号に分類される記号類の種類とその多寡である。

表 2 料理名データ (93,353 件) の品詞構成

品詞	出現頻度	品詞	出現頻度
名詞	271,890	形容詞	4,350
代名詞	744	助動詞	6,277
形状詞	23,786	助詞	73,784
連体詞	372	接頭辞	8,101
副詞	98,849	接尾辞	21,805
接続詞	442	記号	2,517
感動詞	1,793	補助記号	92,582
動詞	13,061	空白	3,214

表 3 クックパッドの料理名とビジネス発注文書の依頼タイトルの補助記号の内訳

クックパッドの料理名				ビジネス発注文書の依頼タイトル (岩崎: 2020)			
順位	語彙素	頻度	割合	順位	語彙素	頻度	割合
1	☆	18,169	19.6%	1	【	26,269	18.6%
2	!	16,973	18.3%	2	】	26,210	18.5%
3	♪	16,302	17.6%	3	!	18,905	13.4%
4	♡	7,710	8.3%	4	(11,110	7.9%
5	★	5,183	5.6%	5)	11,071	7.8%
6	*	4,739	5.1%	6	・	6,551	4.6%
7	～	2,935	3.2%	7	～	5,488	3.9%
8	&	1,540	1.7%	8	。	4,720	3.3%
9	・	1,531	1.7%	9	、	4,402	3.1%
10	、	1,495	1.6%	10	」	3,284	2.3%

表3にクックパッドの料理名に使用されていた記号類の出現頻度と割合（上位10位）を示す。比較対象として、ビジネス発注文書の依頼タイトルで使用されていた記号類の出現頻度と割合（上位10位）も並べて示す（岩崎：2020）。なお、全ての記号類（品詞大分類：補助記号）の出現頻度は資料1に掲載している。表3を見ると、ビジネス文書では【】などのカッコの使用が目立つが、クックパッドの料理名では、「☆」「♪」「♡」などのウェブ記号が多く使用されていることがわかる。つまり、ビジネス文書では、カッコを使うことで情報のまとめや注目してほしい部分を目立たせることが多かったが、料理名の場合、「☆」などの記号を料理名の前後や間に使用することで、料理名を目立たせることが多いことがわかる。

4.2 クックパッドの料理名に使用されていた顔文字について

次に、顔文字の抽出結果を挙げる。顔文字は418種類、917例が抽出された。上位10位の顔文字を表4に示す（全ての顔文字とその出現頻度は資料2に掲載している。）

上位10位の顔文字を見てみると、目が「^^」であるものが多いこと、1位から5位までは口を表す記号は使用されていないことがわかる。また、「(´▽`)」のような手を含む記号も使用されていないことがわかる。

表4 クックパッドの料理名で使用されている顔文字（上位10位）

順位	書字形	頻度	順位	書字形	頻度
1	(^^)	55	6	(^o^)	18
2	(*^^*)	52	7	(^-^)	15
3	^^	46	8	(≥▽≤)	15
4	(^^♪)	20	9	^^	15
5	^^	20	10	(o^^o)	14

5. おわりに

以上、本発表では、クックパッドの料理名データから ABAB 型のオノマトペが使用されている料理名を抽出し、自作の顔文字辞書とともに形態素解析にかけた。その結果をもとに、どのような記号が使用されているか、どのような顔文字が使用されているか、その基礎情報とともにその傾向を示した。

今後の課題としては、そもそもウェブ記号を主とした記号類がクックパッドの料理名において、どのように使用されているのか、その機能を明らかにすることが挙げられる。また、顔文字については、どのような場合に顔文字を使用するのか、その要因を明らかにする必要がある。本発表の調査結果から、顔文字のバリエーションが多種多様であることが確認された。そのため、顔文字を構成する記号ごと、部位ごとにまとめて分類し、分析をしていくことが考えられる。そのうえで、オノマトペと顔文字の関係性やどのようなときに顔文字が使用されるのかということについて分析を行う必要がある。そのさいには、オノマトペと顔文字、それぞれがどの位置で使用されているのかということも考慮に入れる必要がある。

文 献

- 岩崎拓也 (2020) 「第 5 章 記号の使用実態とその問題点—発注者と受注者をつなぐためのカッコの活用—」『ビジネス文書の応用言語学的研究—クラウドソーシングを用いたビジネス日本語の多角的分析』ひつじ書房
- 岸本千秋 (2017) 「ウェブログの計量的文体研究：文とウェブ記号の関係を中心に」『阪大日本語研究』29, pp.71-99.
- ザトラウスキー、ポリー・福留奈美・水藤新子・蓮沼昭子 (2018) 「食べ物を通じた日本語 教育—体験を語る評価、オノマトペ、感覚表現—」『2018 年度日本語教育学会春季大会予稿集』pp.60-69.
- 瀬戸賢一・小森道彦・山口治彦・辻本智子・小田希望・山添秀剛・武藤彩加・安井泉 (2003) 『ことばは味を超える—美味しい表現の探求—』海鳴社.
- 瀬戸賢一・山本隆・楠見孝・澤井繁男・辻本智子・山口治彦・小山俊輔 (2005) 『味ことばの世界』海鳴社.
- 早川文代 (2005) 「日本語テクスチャー用語の収集」『日本食品科学工学会誌』52(8), pp.337-346.
- 早川文代 (2013) 「日本語テクスチャー用語の体系化と官能評価への利用」『日本食品科学工学会誌』60 (7) , pp.311-322.
- B・M・FT ことばラボ (2016) 『ふわとろ SIZZLE WORD 「おいしい」言葉の使い方』B・M・FT 出版部.
- B・M・FT ことばラボ (2018) 『SIZZLE WORD シズルワードの現在 2018 改訂「おいしいを感じる言葉」調査報告』B・M・FT 出版部.
- 福留奈美・伊尾木将之 (2018) 「レシピサービス「クックパッド」のレシピにおけるオノマトペの使用—ABAB 型を中心に—」『計量国語学会 第 62 回大会予稿集』
- 福留奈美 (2018) 「食べ物と食感を表すオノマトペ—食文化の感覚的共有における役割—」『2018 年度日本認知科学会第 35 回大会要旨集』296-299.

資料1 料理名データに使用されていた補助記号一覧

語彙素	頻度	32	」	161	64	お	25
1 ☆	18169	33	「	160	65	?!	24
2 !	16973	34	◇	145	66	#	23
3 ♪	16302	35	○	139	67	※	23
4 ♥	7710	36	『	130	68	✻	23
5 ★	5183	37	』	130	69	%	22
6 *	4739	38	-	126	70	→	20
7 ~	2935	39	@	123	71	◇	18
8 &	1540	40	↓	123	72	え	18
9 ・	1531	41	×	109	73	,	16
10 、	1495	42	...	102	74	'	16
11 。	1349	43	☆彡	100	75	-	16
12 (1205	44	”	91	76	φ	15
13)	1204	45	°	77	77	;	13
14 ~	1017	46	い	70	78	<	13
15 ♥	956	47	々	66	79	>	13
16 】	822	48	/	55	80	§	12
17 【	821	49	》	48	81	✂	12
18 ?	734	50	《	46	82	!?	11
19 つ	672	51	あ	42	83	△	11
20 ♪	662	52	°	40	84	✻	10
21 ◎	517	53	[36	85	/	10
22 ♪	514	54]	36	86	○	10
23 unk	471	55	>	32	87	¥	10
24 ◆	381	56	う	32	88	↑	9
25 -	312	57	∞	31	89	<<	9
26 !!	240	58	<	30	90	№	9
27 .	226	59	☀	29	91	•	8
28 +	221	60	□	28	92		8
29 ■	197	61	◆	27	93	>>	8
30 ●	196	62	“	26	94	◎	8
31 :	168	63	=	25	95	❖	8

96	cm	8	129	【	3	167	↵	1
97	..	7	130	】	3	168	▶	1
98	ゝ	7	131	＼	3	169	◁	1
99	セン チ	7	132	∩	3	170	b	1
100	—	6	133	∪	3	171	ゝ	1
101	ゝ	6	134	▶	3	172	①	1
102	†	6	135	☁	3	173	⑰	1
103	‡	6	136	♠	3	174	③	1
104	//	6	137	🔥	3	175	③	1
105	®	6	138	②	3	176	⑦	1
106	▲	6	139	≡	3	177	Å	1
107	▼	6	140		2	178	O	1
108	▽	6	143	^	2	179	/	1
109	🤖	6	144	↓	2	180	𐄂	1
110	♠	6	145	⇒	2			
111	♠	6	146	∇	2			
112	ゝ	5	147	∇	2			
113	{	5	148	①	2			
114	♣	5	149	⑥	2			
115	👉	5	150	⑧	2			
116	○	5	151	⑨	2			
117	-	4	152	°	2			
118	‘	4	153	グラ	2			
119	}	4	154	—	1			
120	、	4	155	ゝ	1			
121	’	4	156	(V)	1			
122	..	4	160	(有)	1			
123	▷	4	161	←	1			
124	°	4	162	∅	1			
125	#	4	163	÷	1			
126	④	4	164	> <	1			
127	𐄂	4	165	≡	1			
128	’	3	166	≡	1			

資料2 料理名データに使用されていた顔文字一覧

	顔文字	頻度	31 (@_@)	4	62 (*'艸`)	2
1	(^^)	55	32 (^ ^)	4	63 ('艸`)	2
2	(*^^*)	52	33 (^ー^)	4	64 ('3')	2
3	^ ^	46	34 (●'▽`●)	4	65 (Ü)	2
4	(^^♪	20	35 (o'▽`o)	4	66 (艸`*)	2
5	^^	20	36 ('▽`)/	3	67 (・o・)	2
6	(^O^)	18	37 (・▽・)	3	68 (・ω・)	2
7	(^-^)	15	38 (*'▽`)	3	69 (・ω・)ノ	2
8	(≥▽≤)	15	39 (*'▽`)	3	70 ('ω)	2
9	^_^	15	40 (*'▽`*)	3	71 (*_*)	2
10	(o^^o)	14	41 (*'ω`*)	3	72 (*'-)	2
11	^o^	13	42 (*'ω`*)	3	73 (*'^*)	2
12	(^o^)	11	43 (*^_^*)	3	74 (*'▽`)	2
13	(^ω^)	9	44 (*^_^*)	3	75 (*'▽`)	2
14	^ ^	9	45 (*^▽^*)	3	76 (*'艸`*)	2
15	:-)	8	46 (*≥m≤*)	3	77 (*^_^*)	2
16	\(^o^)/	8	47 (*Ü*)	3	78 (*^▽^*)	2
17	♪('ε`)	8	48 ('▽')	3	79 ('`)	2
18	(*^o^*)	7	49 ('ω')	3	80 ('▽`*)	2
19	(^.^)	7	50 (^o^)	3	81 ('▽`)/	2
20	(^ ^)	7	51 (^O^)/	3	82 ('▽`*)	2
21	(o'艸')	7	52 (^ v ^)	3	83 ('Ⅱ')	2
22	('▽`)	6	53 (^皿^)	3	84 (^-^)v	2
23	(*^^)v	6	54 (°▽°)	3	85 (^。^)	2
24	(#^.^#)	6	55 (∩-∩)	3	86 (^^	2
25	(^_^)v	6	56)^o^(3	87 (^▽^)	2
26	(●^o^●)	6	57 *^^*	3	88 (^◇^)	2
27	(^ω^)	5	58 'ω`*	3	89 (^0_0^)	2
28	(・▽・)	5	59 °◎°)㊄イヨウ	3	90 (^0`)	2
29	(^_^)	5	60 ♡←_→♡	3	91 (^3^)/	2
30	!(^^)!	4	61 U・エ・U	3	92 (^w^)	2

93	(^3^)-☆	2	126	(^)o(^)	1	158	(*`V')	1
94	(° o°)	2	127	(`u')	1	159	(*`~`*)	1
95	(:)	2	128	(`v)	1	160	(*`^`*)	1
96	(≥∇≤)	2	129	(¯V¯)	1	161	(*`^`*)	1
97	(≥∇≤)	2	130	(= ^ ω ^)	1	162	(*`V`*)	1
98	(°'ㄥ°)	2	131	(☆V☆)	1	163	(*`V`^`*)	1
99	(o^-')b	2	132	(□□;)	1	164	(*`V`^`*) ヲマー	1
100	(/*°∇°)/	2	133	(□□)	1	165	(*`∇`^`)	1
101	*≠(^o^)/*	2	134	(-_-;)	1	166	(*`∇`^`*)	1
102	*'ω`*	2	135	(-ω☆)b	1	167	(*`U`^`ω)	1
103	\(^ ^)/	2	136	(°—°)	1	168	(*`∪`^`*)	1
104	^ ω ^	2	137	(.°. .)	1	169	(*`—`^`)/	1
105	∩^ω^∩	2	138	(. 'ω` .)	1	170	(*`—`^`*)	1
106	\(^o^)/	2	139	(. V .)	1	171	(*`-`^`*)	1
107	∩(∠)∩	2	140	(. ~ .)	1	172	(*`艸`^`)	1
108	d=(^o^)=b	2	141	(. ~ .) ^ モグモグ	1	173	(*`艸`^`*)	1
109	o(*^∇^*)o	2	142	(. Å .)	1	174	(*`ε`^`*)	1
110	v(^V^*)	2	143	(. u .)	1	175	(*`∩`^`*)	1
111	. ω .	1	144	(. ω .)	1	176	(*`^`^`*)	1
112	° ∩ ∪ °	1	145	(. ω .) ノシ	1	177	(*`^`^`*)	1
113	'ω'	1	146	(. ω . ☆	1	178	(*`^`^`*)	1
114	(`^`)	1	147	(. ω ` . ??	1	179	(*`^`^`*)	1
115	(° ∩ °)カマー	1	148	(. . _ .)	1	180	(*`^`V`^`*)	1
116	(. ∈ .)	1	149	(. @ _ @ .)/	1	181	(*`∇`^`)/	1
117	(*`艸`)	1	150	(. →V← .)	1	182	(*`∩`^`*)	1
118	(*`艸`^`)	1	151	(' @ @ @')	1	183	(*`^`-`^`)	1
119	(. ∩ .)	1	152	(((`^` ∩ `^`)))	1	184	(*`^`-`^`)/	1
120	(`∇`)	1	153	(@ > ∇ <	1	185	(*`m`^`*)	1
121	(`V`)b	1	154	@)	1	186	(*`ω`^`*)	1
122	(`V`)	1	154	(*`ω`^`*)	1	187	(*`-`ω`-`*)	1
123	(`艸`)	1	155	(*`" `*)	1	188	(*`~`~`*) . . : *`	1
124	(`θ`)v	1	156	(*`*)	1	189	(*`°`V`°`*)	1
125	(`θ`)ノ	1	157	(*`∩`^`*)	1	190	(*`°`∇`°`*)	1

191	(*^~*)	1	224	(^▽^)	1	257	(^ - ^)	1
192	(*∂ω∂* ^)	1	225	(^▽ ^)/	1	258	(^▽^)	1
193	(*>ω<*)	1	226	(^⊕ω⊕^)	1	259	(^o^)	1
194	(*≧∀≦)	1	227	(^- ^)	1	260	(^ O ^)	1
195	(*≧m≦*)	1	228	(^-`*)	1	261	(^o^)/	1
196	(*≧d)	1	229	(ε ^)	1	262	(^O^)/	1
197	(*∩▽∩*)	1	230	(ω ^)	1	263	(^o^)J	1
198	(*°▽°*)	1	231	(ω ^*)	1	264	(^O^)J	1
199	(*∪⊕⊙⊕⊙⊕)	1	232	(ω ^人)	1	265	(^O^)b	1
200	(*▷ω◦)	1	233	(D)	1	266	(^O^)V	1
201	(* b <))))	1	234	(^_-)	1	267	(^ u ^)	1
202	(*∇/∇/)	1	235	(^_-)-☆	1	268	(^ w ^)	1
203	(*μ_μ*)	1	236	(^_-)-☆	1	269	(^ Ⅲ ^)	1
204	(# ^ - ^ #)	1	237	(^ - ^) b	1	270	(^ 人 ^)	1
205	(••)	1	238	(^ - ^)	1	271	(^ ω ^)	1
206	(//▷ω◦)b	1	239	(^ - ^)/	1	272	(^ p ^)	1
207	(//ω//)	1	240	(^ - ^) v	1	273	(° ∇ °)	1
208	(//D//)	1	241	(^ - ^*)	1	274	(^ ~ ^)	1
209	(^ ◦ ω ◦)	1	242	(^ - ^)	1	275	(° _ °)	1
210	(^ D)	1	243	(^ ◦ ^)	1	276	(=∇ ^ =)	1
211	(^ w ^)	1	244	(^ ^)	1	277	(>∇<) !!	1
212	(^ ◦ J ◦)	1	245	(^^)/	1	278	(≡益≡)	1
213	(^ ◦ ω ◦)	1	246	(^^)b	1	279	(≧∇≦)/	1
214	(^ ◦ ω ◦)9	1	247	(^^)d	1	280	(≧∇≦*)	1
215	(^ ◦ ω ◦)b	1	248	(^ ^) v	1	281	(≧∇≦*)	1
216	(^ , ^)	1	249	(^^)V	1	282	(≧∪≦)	1
217	(^ V ^)	1	250	(^^*)	1	283	(≧ω≦。)	1
218	(^ V ^)	1	251	(^^*)	1	284	(∩∇∩)	1
219	(^ V ^ ∩)	1	252	(^^_m)	1	285	(∩∩)	1
220	(^ V ^ ☆	1	253	(^ V ^)	1	286	(o^V^)/^	1
221	(^ V ^人)*.:	1	254	(^V^)	1	287	(o^V^o)	1
222	(^∇)	1	255	(^V^*)	1	288	(o°V°o)	1
223	(^∇ ^)	1	256	(^ ~ ^)	1	289	(⊙° V °)b	1

290	(◎o◎)	1	323	(° o °)	1	356	'ω`●	1
291	(●'v`●)ㄣ	1	324	(°≡°)	1	357	^-^	1
292	(●'w`o)	1	325	(o*∩3<*)	1	358	^^/	1
293	(●'σπ`●)	1	326	(o~∪o)	1	359	^_-☆	1
294	(●'ω`●)	1	327	(ó⊗ò)	1	360	^-^	1
295	(●'ω`●)	1	328	(Pqv')	1	361	^ - ^ *	1
296	(●'ω`●)	1	329	(u_u)	1	362	^- - ^ *	1
297	(●^ - ^ ●)	1	330	(/ -ω-) /	1	363	^ ~ ^	1
298	(●^ □ ^ ●)	1	331	(/)V'(√)	1	364	^ 3 ^	1
299	(●^o^●)	1	332	(/ 'V` *)	1	365	^ o ^	1
300	(●≧卍≦)	1	333	(/ '3') /	1	366	^o^/	1
301	(○ǒǒ○)	1	334	(/ ≧∇≦) /	1	367	^Ⅲ^	1
302	(★'u`★)	1	335	(/ ω` *) /	1	368	^ω^	1
303	(★'v`) /	1	336	(人'v`) ♪	1	369	<°))) ≧	1
304	(♡~♡)	1	337	(美'v` 味)	1	370	=^·ω·^=	1
305	(♡∇♡)	1	338	(° ε ° *)	1	371	><	1
306	(⊕_⊕)	1	339	(° ε ^ *)	1	372	^ ∇ ^) /	1
307	(⊕_⊕)	1	340	(σ · ∇ ·)σ	1	373	° ◎) ∃	1
308	(⊕_⊕)	1	341	(δ∇δ)	1	374	∣ ∷ ∣	1
309	(⊗'∪'⊗)	1	342	(∅'∪')	1	375	◎) ∃ ∪ +	1
310	(⊗'3'⊗)	1	343	(η'ω'η)	1	376	★(^)v	1
311	(> ω ·)	1	344	(η'ω'η)	1	377	★'v`★	1
312	(-∇-)	1	345	{⊗ω⊗}	1	378	☆ω☆	1
313	(Φ ω Φ)	1	346	@^(oo)^@	1	379	♥'v`)	1
314	(○ 3 ○)	1	347	@ ^ 0 ^ @	1	380	⊕_⊕	1
315	(⊙·⊙)	1	348	* ^ ^ *	1		(⊕_⊕)	1
316	(⊙'∇)	1	349	*^—^*∇	1	381	ξ*'∇'*∃	1
317	(⊙'∇'⊙)	1	350	\ (^ ∇ ^)	1	382	=∇=	1
318	(⊙~3~⊙)	1	351	\ (◎o◎) /	1	383	\ (*'∇ /	1
319	(⊙—'⊙)	1	352	#^.^#	1	384	\ (*^^*) /	1
320	(⊙→_⊕←⊙)	1	353	'∇`*)v	1	385	\ (*∩∇∩*) /	1
321	(⊙≧∇≦)	1	354	'~	1	386	\ (` ∇) /	1
322	(° □ °)	1	355	'ε'☆	1	387	\ ('∇`) /	1
						388	\ ('∇` *) /	1

389	$\backslash(' \nabla \text{ ` }) /$	1	399	$o(\wedge \wedge) o$	1	409	$\supset \omega \text{ ` } *$	1
390	$\backslash(' o \text{ ` } ;$	1	400	$o(\wedge \nabla \wedge) o$	1	410	$\nearrow \wedge \text{ 工 } \wedge$	1
391	$\backslash(' \varepsilon \text{ ` } *) \succ$	1	401	$o(\wedge o \wedge) o$	1	411	$\wedge (\cong \nabla \cong \wedge) \text{ ㄱ}$	1
392	$\backslash(' \delta \text{ ` })$	1	402	$o(> \nabla <) o$	1	412	$\epsilon(' \Theta') \exists$	1
393	$\backslash(= ' \nabla ' =)$	1	403	$p(\wedge \wedge) q$	1	413	$\iota(\text{ ` } \cdot \cdot \cdot \text{ ` }) /$	1
394	$\backslash(o ' w \text{ ` })$	1	404	$p(\wedge \wedge) q$	1	414	$\Sigma(* \text{ ㄷ } *)$	1
395	$d(\wedge \wedge)$	1	405	$q(\wedge \wedge) q$	1	415	$\Sigma(\text{ ㄴ } \text{ ` }) /$	1
396	$d(\succ c _)$	1	406	$v(\hat{\quad} \hat{\quad}) v$	1	416	$\Sigma d(\cdot \forall <)$	1
397	$o(* \text{ ㄱ } \text{ ㄱ } *) o$	1	407	$v \hat{\quad} \hat{\quad} v$	1	417	$\Psi(\nabla) \Psi$	1
398	$o(\wedge \wedge) o$	1	408	$\text{ ㄱ } \text{ ㄱ } ?$	1	418	$\mathcal{C}(\text{ ㄷ } \text{ ` } \text{ ㄷ }) \mathcal{B}$	1